

「“木の家”耐震改修推進会議（仮称）」について

＜ 趣旨と活動内容(案) ＞

1. 大地は不動ではない。大地は隆起沈降する。多様な景観を持ち、地形が複雑であればあるほど、この隆起沈降の現象は顕著なものとなる。日本列島は、山岳と河川、平野と盆地、入り江と湖水など変化に富んだ地形を持っており、地震による影響を受けやすい地域がある一方、過去の記録の上では少ない地域もある。けれども、過去のデータがないからといって、明日地震が起こらないという保証はない。
2. 今後、M8クラスの巨大地震は30～50年の間に4～5回起こると予想され、M7クラス（兵庫県南部地震や首都圏直下型地震クラス）は、その数倍起こると予測されている。
3. 阪神淡路大震災における死亡者の92%は、検証・推計の結果、地震直後の14分間に圧死・窒息死によるものである。明瞭なことは、地震への根本対策は、先ず何をおいても住宅の耐震化にあることだ。「“木の家”耐震改修推進会議（仮称）」を発会する主たる動機と取り組みは「いのちを失わない住宅」に掛かっている。
4. 政府によって発表された「新成長戦略」（平成22年6月18日閣議決定）は、住宅に関して「2020年までに非耐震化住宅を5%以内」とする目標を打ち出し、また林業再生に関して「木材自給率50%の達成」を掲げた。「新成長戦略」は別々の項目になってはいるが、この二つは不可分の関係にある。耐震改修は多量の木材を必要とし、その木材は、林業再生の「出口」となる。

以上の諸点を踏まえ、迫りくる地震対策の一番に住宅の耐震化を挙げ、耐震改修を積極的に推進するため、呼びかけ人9名は、ここに「“木の家”耐震改修推進会議（仮称）」を発会することを申し合わせた。

発会の動機と取り組みは、この「いのちを奪わない住宅づくり」に掛かっており、政府・自治体による抜本的な政策・施策が緊急に求めると共に、一人一人の国民が、「よし耐震改修しよう」「これを機会に住まいを“本格改修”しよう」という行動をいかに呼べるかが重要である。

本推進会議は、提言・普及啓発・情報収集を行うことを主とした取り組みであり、耐震化推進の「旗振り」役を担うものである。

上記の目的を推進するため、次の活動を進める。

- ・ 2010年9月1日（防災の日）を発会式とし、呼びかけ人アピールを行う。
- ・ 耐震改修に対する支援の充実を、政府と各自治体に要請する。
- ・ 耐震化を手掛かりに、省エネ化やバリアフリー、建物の劣化対策等を行う既存住宅の「本格改修」への流れを促す。今住む家を次世代にまで引き継げる、持続可能な社会の住宅を明示することが、耐震化の意味と価値を高め、普及促進の動力となる。
- ・ 耐震検査と査定を進めることにより、中古住宅の市場活性化を促す。
- ・ “木の家”改修による木材利用を、林業再生の「出口」と結びつけ、「町」と「山」双方の雇用の保持・創出に寄与する。
- ・ 地震防災力は「地域が自ら考え、地域が自ら動く」ことが基本であり、地域ごとに「“木の家”耐震改修推進会議」を興し、その街の「地域防災地図」を作成することを呼び掛け、診断と補強の「ローラー作戦」「声掛け運動」を展開する。
- ・ 各地域及び団体等が耐震勉強会を開き、最新の地震科学と耐震技術を学ぶことを呼び掛ける。また、本推進会議は自ら企画を立て「シンポジウム」を計画する。その初回期日を、阪神淡路大震災の記念日にあたる2011年1月17日に予定する。
- ・ 公式ホームページを情報交換・意見交換の場として活用する。
- ・ 工務店・設計事務所が地域の耐震推進活動に利用できるツール類を企画・制作する。

「“木の家”耐震改修推進会議（仮称）」は、住宅（工務店・設計事務所）・林業（育林・伐採・製材・流通）関係団体代表者6名と、国交省「“木の家づくり”から林業再生を考える委員会」委員である養老孟司・天野礼子・小池一三3名の呼びかけにより、9月1日に発会を予定している。当日、発会に先立ち「呼びかけ人会」を開催し、名称、本趣旨と活動内容、組織と運営、今後の活動計画、「呼びかけ人アピール」（案）等について論議し、決定をはかる予定である。

この取り組みは、呼びかけ人の構成に見るように、一つは住宅・林業を代表するナショナルセンター代表の結集を見ていることと、養老孟司の参加に見られる学際的展開が特徴となっている。

今後、より横断的な広がりを得、また広範な人士の結集による学際的な取り組みによって、テーマとする“木の家”耐震改修推進の“社会化”に努めるものである。

本推進会議の発会式を予定する9月1日は、87年前（1923年）に起こった関東大震災を忘れないための「防災の日」である。

——「過去の記録はまた将来の予言となる（寺田寅彦）」

< 呼びかけ人 > (当初メンバー)

青木宏之 (社団法人全国中小建築工事業団体連合会会長)

梅野博之 (全国森林組合連合会代表理事専務)

田村豪勇 (全国建設労働組合総連合中央執行委員長)

並木瑛夫 (社団法人全国木材組合連合会会長)

藤本昌也 (社団法人日本建築士会連合会会長)

豆原義重 (国産材製材協会会長)

養老孟司 (東京大学名誉教授/「木の家づくり」から林業再生を考える委員会」委員長)

天野礼子 (作家/「木の家づくり」から林業再生を考える委員会」委員長代理)

小池一三 (町の工務店ネット代表/「木の家づくり」から林業再生を考える委員会」委員)

「木の家」耐震改修推進会議(仮称)」発会式プログラム

日時	平成 22 年 9 月 1 日 (水) 関東大震災の記念日・防災の日 午後 3 時~4 時 50 分	
場所	東京都千代田区丸の内 3 丁目 5 番 1 号 東京国際フォーラム G502	
プログラム	3:00~	発会のことば
	3:10~	来賓のあいさつ 前原誠司国土交通大臣(予定) 皆川芳嗣林野庁長官(予定)
	3:20~	基調講演/養老孟司 (東京大学名誉教授・「木の家」づくりから林業再生を考える 委員会」委員長)
	3:50~	パネルディスカッション (司会進行/天野礼子) 問題提起/目黒公郎 (東京大学教授) ほか
	4:40~	「木の家」耐震改修推進会議(仮称)」による〈呼びかけ人アピ ール〉の発表
	4:45~	閉会のことば
	4:50	閉会

※ 発会式参加予定者 130名程度